

1. 単元名 「現代の民主政治と社会」

「国の政治のしくみ ～民主政治と国会・内閣・裁判所～」(全8時間)

2. 単元のねらい

国会・内閣・裁判所が、国民の意思を反映するしくみになっているとともに、国民が願いを実現する民主政治を進めていくためには、積極的な国民の政治参加が必要であることを理解することができる。  
法が国民の生活を守るためにあることや、そのために国会・内閣・裁判所といった機関があることを理解し、積極的に政治に参加する人々や、しようとする意欲をもつ人々の主権者としての自覚ある生き方に共感することができる。

3. 単元で培いたい学び方

国の政治のしくみに関する様々な資料を適切に収集、選択、活用し、民主政治の意義をとらえ、主権者として政治に参加する意義を自覚する学び方。

4. 内容のまとめりごとの評価基準

公民的分野の内容(3)イ「民主政治と政治参加」

ア. 社会的事象への関心 ・意欲・態度	イ. 社会的な思考・判断	ウ. 資料活用の技能・表現	エ. 社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>国や地方公共団体の政治に対する関心を高めそれを意欲的に追究し民主的な政治について考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や地方公共団体の政治に関して、議会制民主主義や選挙の意義について多面的・多角的に考察し、民主的な政治の在り方について様々な考え方や立場から公正に判断している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方自治の基本的な考え方や、地方公共団体の政治のしくみ、国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらまし、政党の役割、多数決の原理とその運用の在り方、法に基づく公正な裁判の保障について理解するとともに公正な世論の形成と国民の政治参加の大切さに気付き、その知識を身に付けている。</li> </ul>

5. 単元の評価基準

	ア. 社会的事象への関心 ・意欲・態度	イ. 社会的な思考・判断	ウ. 資料活用の技能・表現	エ. 社会的事象についての知識・理解
単元の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生活と政治との関わりに関心をもち、身の回りの社会的事象から現代政治の課題を発見し、意欲的に追究している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民の代表者によって構成される議会で行われる民主政治・議会制民主主義が、我が国の政治の原則となっていることについて多面的・多角的に考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の政治のしくみに関する様々な資料を適切に収集・選択し、課題追究に活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の民主政治のしくみとして、議会制民主主義の意義、議院内閣制のしくみ、裁判の働きなどについて理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>
学習活動における具体的評価基準	<p>国の政治(国会・内閣・裁判所)のしくみや役割などに関心をもち(見学や体験を含めた)調べ学習に意欲的に取り組もうとしている。国の政治のしくみについて自分との関わりに着目しながら追究し、主権者としての自分の在り方について考えようとしている。</p>	<p>国会における議会制民主主義の意義について多面的・多角的に考察している。裁判における人権保障の必要性について多面的・多角的に考察している。仲間との交流を通して課題についての自分の考えを深めている。課題について主権者の立場で考察している。</p>	<p>国の政治のしくみに関する様々な資料を適切に収集・選択し、課題追究に活用している。国の政治のしくみを追究し、考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。</p>	<p>国会は、主権者である国民の代表者で構成されていること、国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であることを理解し、その知識を身に付けている。内閣については、我が国が議院内閣制を採用していることを理解しその知識を身に付けている。法に基づく公正な裁判によって社会の秩序が保たれ、人権が守られていることを理解し、その知識を身に付けている。</p>

時	ねらい	学 習 活 動	評価基準	評価方法	資料及び指導・援助
1・2 民主政治と国会	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、日本に法律がどれだけあるのかを調べることを通して、単元を貫く課題を設定することができる。また、法をつくる国会の地位としくみについて理解することができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>現在、日本に法律がどれだけあるのか予想し、調べる。 ・800余りある。・主な法律だけでもこれほど多い。</li> <li>調べた感想の交流から、単元を貫く課題を設定する。 ・法律はどのようにしてつくられているのか。 ・法律は役立っているのか。・法律は守られているのか。 《単元を貫く課題》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">法はどのようにしてつくり、使われ、守られているのか。</div></li> <li>国会が法をつくり、内閣が国の政治を行い、裁判所が法を守ることを知り、課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">法をつくる国会は、どのようなしくみになっているのだろう。</div></li> <li>資料をもとに、法をつくる国会の地位としくみについて調べる。(憲法第41・42・43条) ・国民の代表機関・国権の最高機関・国の唯一の立法機関 ・二院制・衆議院の優越・国会の種類</li> </ol>	<p>&lt;ア - &gt; 国の政治のしくみや役割などに関心をもち調べ学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>&lt;エ - &gt; 国会は、国民の代表機関、国権の最高機関、国の唯一の立法機関であることを理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>発言内容 単元を貫く課題の設定に関わる疑問や考えをもつことができたか分析する。</p> <p>ノートの記述 単元を貫く課題についての考えが記述されているか分析する。</p>	<p>六法全書の目次 市販の六法など</p> <p>日本国憲法 国会の地位としくみ 衆議院の優越 国会の種類 (教科書・資料集) 国会のパンフレット 図書室の本 インターネットで検索</p> <p>・課題追究の視点も明確に、自分で必要な資料を収集・選択している生徒を認める。</p>
現在の日本には、国民の願いを実現させるために、多くの法律があることが分かった。また、その法をつくる国会は国民の代表機関だということも分かった。...国会で法律がどのような流れでつくられていくのが調べたい。					
3 民主政治と国会	<ul style="list-style-type: none"> <li>国会の仕事や法律ができるまでの流れを資料をもとにして調べることを通して議会制民主主義と法をつくる国会のはたらきについて理解することができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>前時の振り返りから、本時の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">法をつくる国会は、どのようなはたらきをしているのだろう。</div></li> <li>資料をもとに、国会の仕事について調べる。 ・法律の制定 ・予算の審議 ・内閣総理大臣の指名 ・条約の承認・憲法改正の発議・国勢調査権の行使 ・弾劾裁判所の設置</li> <li>資料をもとに、法律ができるまでの流れを理解する。 ・議員及び内閣による立法 ・二院制 ・天皇による公布 ・委員会・公聴会・本会議</li> <li>課題について「議会制民主主義」の視点からまとめる。</li> </ol>	<p>&lt;イ - &gt; 国会における議会制民主主義の意義について多面的・多角的に考察している。</p> <p>&lt;ウ - &gt; 国会のしくみに関する様々な資料を適切に収集・選択し課題追究に活用している。</p>	<p>ノートの記述 課題についての考えが資料にもとづいて記述されているか分析する</p> <p>ノートの記述 国会のしくみとはたらきについて理解できているか分析する。</p>	<p>日本国憲法 法律のできるまで 予算が成立するまで 内閣総理大臣の氏名 (教科書・資料集) 国会議員(秘書)の方の話 &lt;修学旅行&gt; 国会のパンフレット 図書室の本 インターネットで検索</p> <p>・課題追究の視点も明確に、自分で必要な資料を収集・選択している生徒を認める。</p>
二院制には、審議を慎重に行うことや衆議院の行き過ぎなどをストップさせる大切なはたらきがあることが分かった。国民の代表機関として「議会制民主主義」が大切にされているんだ。...内閣のしくみやはたらきはどのようなのだろう。					
4 民主政治と内閣	<ul style="list-style-type: none"> <li>内閣のしくみやはたらき内閣と国会の関係を資料をもとにして調べることを通して、国の政治を行う内閣と国会が議院内閣制のもと密接につながっていることを理解することができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>閣僚一覧の表をもとに、本時の課題を設定する。 ・国会議員でない大臣もいる。 ・大臣はどのようにして決められるのだろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">国の政治を行う内閣は、どのようなしくみになっているのだろう。</div></li> <li>資料をもとに、内閣のしくみについて理解する。 ・内閣総理大臣・国務大臣</li> <li>資料をもとに、内閣のはたらきについて調べる。 「行政権は、内閣に属する」(憲法第65条) ・行政/国会が定めた法律や予算にもとづいて、国の政治を行うこと ・内閣/各行政機関の頂点に立って、行政の仕事全体に責任をもち、まとめること</li> <li>資料をもとに、国会とのつながりについて調べる。 ・議院内閣制・不信任決議・衆議院の解散・総辞職</li> <li>課題について「議院内閣制」の視点からまとめる。</li> </ol>	<p>&lt;ア - &gt; 内閣のしくみや役割に関心をもち調べ学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>&lt;ウ - &gt; 内閣のしくみに関する様々な資料を適切に収集・選択し課題追究に活用している。</p>	<p>ノートの記述 課題についての考えが資料にもとづいて記述されているか分析する</p> <p>ノートの記述 内閣のしくみとはたらきについて理解できているか分析する。</p>	<p>閣僚一覧(新聞記事)</p> <p>日本国憲法 内閣の組織 内閣の仕事 内閣の成立パターン 国会と内閣の関係 (教科書・資料集) 図書室の本 インターネットで検索</p> <p>・課題追究の視点も明確に、自分で必要な資料を収集・選択している生徒を認める。</p>
内閣は、国会で多数の議席を占めた政党が中心となって構成されていることや、国民の意思を反映させるしくみをとっていることなどが分かった。「議院内閣制」のもと、国会に対して責任を負っているというしくみも分かった。					

時	ねらい	学 習 活 動	評価基準	評価方法	資料及び指導・援助
民主政治と内閣	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央省庁が再編された理由を資料をもとにして考えることを通して、現在、肥大化した日本の行政をスリム化、透明化、効率化しようとして行政改革が進められていることを理解することができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>中央省庁再編の図をもとに、本時の課題を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>文部省は文部科学省になった。</li> <li>省庁の数を減らして国の政治はしていけるのだろうか。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どうして中央省庁は再編されたのだろう。</p> </div> </li> <li>資料をもとに、課題に対する自分の考えをまとめ、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>組織を整理して、動きやすくするため。</li> <li>公務員の数を減らして、税金を有効に活用するため。</li> <li>現代の社会に合った、仕事をしていくため。</li> </ul> <p>肥大化した行政を改革する一つの手だてとして国民の意思がより反映される行政をめざして内閣の政治力の強化、スリム化、透明化、効率化をめざして</p> </li> <li>課題について「行政改革」の視点から、本時のまとめをする。</li> </ol>	<p>&lt;イ - &gt; 仲間との交流を通して課題についての自分の考えを深めている。</p> <p>&lt;エ - &gt; 内閣については、我が国が議院内閣制を採用していることを理解しその知識を身に付けている。</p>	<p>発言内容 発言内容に思考の変容が見られるか分析する</p> <p>交流の姿 仲間との交流を通して課題についての自分の考えを深めているか分析する。</p>	<p>新しい中央省庁 (教科書・資料集)</p> <p>中央省庁再編の柱 公務員の種類と人数 (資料集) インターネットで検索</p> <p>・交流に備えて自分なりの考えをまとめ、発表内容を明確にさせる。</p>
		<p>行政は自分たちの日常生活と強く深く結びついているからこそ、今、改革が行われているんだ。それは、よりよい社会の実現に向けて必要なことなのだということが分かった。...裁判のしくみやはたらきはどのようなだろう。</p>			
民主政治と裁判所	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な判例を取り上げ裁判のしくみや流れを資料をもとにして調べることを通して、法にもとづく公正な裁判によって社会の秩序が保たれ、人権が守られていることを理解することができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>最高裁判所が「憲法の番人」と位置づけられていることをもとに、本時の課題を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>法を守るために、裁判所はどんなことを大切にしているのだろう。</li> </ul> </li> <li>過去にあった裁判をもとに、裁判の種類をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>民事裁判 / 私人の間の争いについての裁判</li> <li>刑事裁判 / 犯罪行為について有罪・無罪を決定する裁判</li> </ul> </li> <li>資料をもとに、裁判のしくみと流れを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>最高裁判所と下級裁判所(高等・地方・家庭・簡易)</li> <li>三審制・司法権の独立</li> <li>民事裁判 / 原告・被告・弁護士・調停・判決</li> <li>刑事裁判 / 警察官・検察官・起訴・被告人・刑罰</li> <li>違憲立法審査権</li> </ul> </li> <li>課題について「人権・民主政治・社会秩序」の視点からまとめる。 <p>「何人も、裁判所において裁判を受ける権利を奪はれない」(憲法第32条)</p> </li> </ol>	<p>&lt;ア - &gt; 裁判のしくみや役割に関心をもち調べ学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>&lt;エ - &gt; 法に基づく公正な裁判によって社会の秩序が保たれ、人権が守られていることを理解し知識を身に付けている。</p>	<p>ノート の記述 課題についての考えが資料にもとづいて記述されているか分析する</p> <p>ノート の記述 裁判のしくみと裁判所のはたらきについて、理解できているか分析する。</p>	<p>最高裁判所の パンフレット</p> <p>刑事裁判の判例 憲法・民法・刑法 裁判所のしくみと 三審制 民事裁判と刑事裁判 (教科書・資料集) インターネットで検索</p> <p>・課題追究の視点も明確にもち、自分で必要な資料を収集・選択している生徒を認める。</p>
		<p>三審制がとられていることや、事件やトラブルの種類によって第一審の裁判所が違うことが分かった。裁判所が法にもとづいて公正に判断してくれているから、自分たちは安心して生活していける。...裁判に間違いはないのだろうか。</p>			
裁判と人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の裁判における人権保障について、自分の考えをもとにして話し合いを行うことを通して死刑制度の存続についての考えをもつことができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>免田さんの再審請求事件をもとに、感想を交流する中から、本時の課題を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>裁判は本当に人権を大切にしているのだろうか。</li> </ul> </li> <li>論題について、肯定側と否定側のどちらかで自分の立場を決め、考えを書く。 <p>&lt;視点&gt;・逮捕条件　・被害者の思い ・国民の意識　・刑罰の種類 ・犯罪者の人権・裁判の間違い</p> <p>「すべて裁判官は、その良心に従ひ独立してその職権を行ひ、この憲法及び法律にのみ拘束」(憲法第76条)</p> </li> <li>同じ視点・違う視点の仲間と交流する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>各自課題追究したことを発表交流し、死刑制度について自分の考えを深める。</li> </ul> </li> <li>全体で交流する。 <p>&lt;立場&gt;・死刑制度の存続・死刑制度の廃止</p> </li> <li>本時の学習のまとめをする。</li> </ol>	<p>&lt;イ - &gt; 裁判における人権保障の必要性について多面的・多角的に考察している。</p> <p>&lt;ウ - &gt; 裁判における人権保障について、考察した過程や結果をまとめたり説明したりしている。</p>	<p>発言内容 発言内容に思考の変容が見られるか分析する</p> <p>交流の姿 仲間との交流を通して課題についての自分の考えを深めているか分析する。</p>	<p>免田さんの冤罪</p> <p>日本国憲法・刑法 おもな刑罰の種類 刑事事件と人権の保障 司法権の独立 (教科書・資料集) インターネットで検索</p> <p>・立場をはっきりさせて課題追究をさせる。 ・調べ学習において、焦点を絞って追究することができるよう視点を明らかにしておく。</p>
		<p>人が人を裁くことは本当に難しいことだと思う。死をもって罪を償うということは本当にできることなのだろうか...。自分としては、被害者の思いを考えると死刑制度は必要だという思いでいる...。...これからも考えていきたい。</p>			

時	ねらい	学 習 活 動	評価基準	評価方法	資料及び指導・援助
三権の抑制と均衡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立法権・行政権・司法権の三権相互の抑制と均衡の関係を整理することを通して、主権者としての自分の在り方について考えることができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 モンテスキューの「法の精神」をもとに、三権分立の意義を振り返る。 ・権力の集中を防ぐ</li> <li>2 我が国の三権についてこれまでの学習をもとに確認する。 ・立法権 / 国会 ・行政権 / 内閣 ・司法権 / 裁判所</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">三権のかかわりはどのようにになっているのだろう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 資料をもとに、レポート形式でまとめる。 ・新聞や雑誌の記事、テレビのニュース、インターネットなど、身の回りの情報を盛り込みながらレポートにまとめる。</li> <li>4 本時の学習のまとめをする。</li> <li>5 単元の学習のまとめをする。</li> </ol>	<p>&lt;ア - &gt; 国の政治のしくみについて自分との関わりに着目しながら追究し、主権者としての自分の在り方について考えようとしている。</p> <p>&lt;イ - &gt; 課題について主権者の立場で考察している。</p>	<p>レポートの記述 国の政治のしくみについて、自分との関わりに着目し、主権者としての自分の在り方について考えようとしているか分析する。</p>	<p>法の精神</p> <p>日本国憲法 日本の三権分立 (教科書・資料集) 生徒個人資料 インターネットで検索</p> <p>・三権について今まで学習してきたことを、分かりやすく図式化してまとめるように助言する。</p>
		<p>新聞を参考に見てみたけど、自分たちの日常生活に関わりが深いことに気がついた。政治のしくみが分かってきたから、これから新聞やニュースを見るときに注意したいし、国の政治に対する自分の思いや考えをもちたいと思う。法をつくったり、使ったり、守ったりするのは、それぞれ国会・内閣・裁判所が行っていくことが分かったけど、つきつめて考えていくと、どれも自分たち国民一人一人が深く関わっているように思う。積極的に関わっていきたい。</p>			